

環境経営活動レポート

令和6年度（2024年度）

対象期間：令和5年7月～令和6年6月

作成：令和6年10月 1日

改定：令和7年 3月20日

有限会社 福水工業

有限会社 福水工業

環境経営方針

有限会社福水工業は、地域に根付いた企業として、地球環境保全に貢献することが重要課題であることを認識し、各自が環境に配慮した行動を意識し、事業活動を通じて地域環境の保全に努めます。

<行動計画>

1. 具体的に次のことに取り組みます。
 - ① 電力・自動車及び建設機械燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
 - ② 建設資材の省資源、廃棄物の分別・適正処分による再生率の向上
 - ③ 水資源の節水
 - ④ 事務用品のグリーン購入
 - ⑤ 一般廃棄物の削減
 - ⑥ 環境に配慮した施工の推進
2. 当社の事業に係わる環境関連法規制、徳島県条例、阿南市条例を順守します。
3. 環境経営方針は、全従業員に周知するとともに、社外にも公表します。

上記の行動計画の具体化に向け、目標を設定し、定期的に見直すなど、環境経営システムを推進するとともに、効率の向上やより環境に配慮した施工、さらには、これらを担う人材の確保や技術の維持・向上など、環境経営の継続的改善に努めます。

制定日：平成29年 6月 1日
改定日：令和 3年 3月14日
令和 4年 2月 7日
令和 4年 7月 1日

有限会社福水工業
代表取締役 原 嘉彦

取組の対象組織・活動

1. 組織概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社 福水工業
代表取締役 原 嘉彦

(2) 所在地

本社 徳島県阿南市福井町吉谷136-34
資材置場 徳島県阿南市新野町妙見前77-2
倉庫 徳島県阿南市福井町吉谷49-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 原 嘉彦 TEL: 0884-34-2724
担当者 原 礼子 TEL: 0884-34-2724

(4) 事業内容

- ①建設業の許可 徳島県知事許可 一般第1011号
土木工事業、とび・土工工事業
管工事業、水道施設工事業、解体工事業
有効期限 令和2年10月13日 から 令和7年10月12日まで
②産業廃棄物収集・運搬業 徳島県知事許可 3600140243号
有効期限 令和5年1月7日 から 令和10年1月6日まで

(5) 事業規模

売上高 10,339万円（6年度） 工事件数 35

	本社	資材置場	倉庫
従業員	4人	無人	無人
延べ床面積	79㎡	1100㎡	348㎡

(6) 事業年度 令和6年度（令和5年7月～令和6年6月）

2. 認証・登録の対象組織及び活動

認証・登録事業者名: 有限会社 福水工業

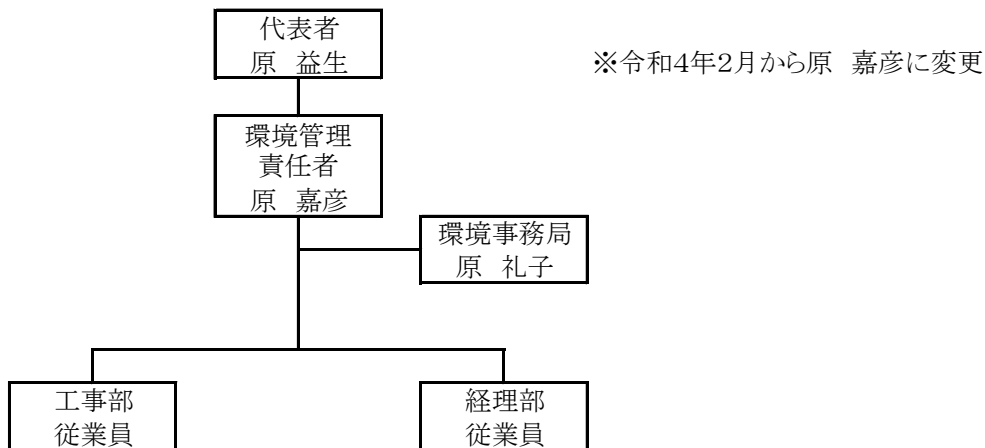
対象事業所: 本社 徳島県阿南市福井町吉谷136-34
資材置場 徳島県阿南市新野町妙見前77-2
倉庫 徳島県阿南市福井町吉谷49-1

事業活動範囲: 建設業（土木工事業、水道施設工事業）
（備考）
建設業: 許可のうち、とび・土工工事業、管工事業、解体工事業は
事業実績がないため、活動範囲から除く。
産業廃棄物収集・運搬業: 自社のもののみを取り扱っており、活動
範囲から除く。

3. 環境に関する苦情等の受付窓口

担当者 原 礼子 TEL: 0884-34-2724

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営活動計画を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営活動レポートの承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表及び遵守結果を承認 ・環境経営目標、環境経営活動計画を確認 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・教育訓練(緊急事態を含む)の実施を指示 ・是正・予防処置の決定・指示 ・環境経営活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

環境経営目標と実績
(事務所)

2024年度

項目	年 度	基準年度 2019～2022年度 実績(平均等)	中期目標(3カ年)					
			2024年度 上段:通年 下段:上期		2025年度 上段:通年 下段:上期		2026年度 上段:通年 下段:上期	
			目標	実績(目標達成率)	目標	実績(目標達成率)	目標	実績(目標達成率)
環境経営方針と整合		基準値						
電力使用による 二酸化炭素を 削減する。	kg-CO2	1,310	1297 648 1%減	1160 655 110.6%	1284 642 2%減		1271 635 3%減	
ガソリン使用による 二酸化炭素を 削減する。	kg-CO2	1,430	1416 708 1%減	1448 739 97.7%	1401 701 2%減		1387 694 3%減	
一般廃棄物を 削減する。	kg	80	79.6 39.8 0.5%減	59.5 29.0 125.3%	79.2 39.6 1%減		78.8 39.4 1.5%減	
水使用量を 削減する。	m³	40	39.8 19.9 0.5%減	55.0 28.0 61.8%	39.6 19.8 1%減		39.4 19.7 1.5%減	
グリーン購入を 推進する。	購入品目	4	4 2 100%以上	4 2 100%	4 2 100%以上		4 2 100%以上	

※CO2排出総量・事務所(灯油を含む):3,230kg-CO2

- ※1. 電力のCO2発生量については、四国電力の排出係数(0.532kg-CO2/kWh)を使用した。
 2. 目標の下段は、年間目標を1/2とした上期の目安。
 3. 化学物質については、使用の実態がないため、目標を設定していない。
 4. 基準値は、2019～2023年度実績を踏まえ、特に高い・低い値を除いた平均としている。
 なお、目標達成率は、次により算定:削減目標の場合 (1-(実績値-目標値)/目標値)×100% 増加目標の場合 (1+(実績値-目標値)/目標値)×100%

(現場)

項目	年 度	基準年度 2019～2022年度 実績(平均等)	中期目標(3カ年)					
			2024年度 上段:通年 下段:上期		2025年度 上段:通年 下段:上期		2026年度 上段:通年 下段:上期	
			目標	実績(目標達成率)	目標	実績(目標達成率)	目標	実績(目標達成率)
環境経営方針と整合		基準値						
電力使用による 二酸化炭素を 削減する。	kg-CO2	20	19.8 9.9 1%減	60.6 17.6 -106.1%	19.6 9.8 2%減		19.4 9.7 3%減	
ガソリン使用による 二酸化炭素を 削減する。	kg-CO2	5,000	4950 2475 1%減	5524 2578 88.4%	4900 2450 2%減		4850 2425 3%減	
軽油使用による 二酸化炭素を 削減する。	kg-CO2	36,180	35818 17909 1%減	97925 34012 -73.4%	35456 17728 2%減		35095 17547 3%減	
産業廃棄物の 再資源化率の 向上・維持	%	100	100 100 100%維持	100.0 100.0 100.0%	100 100 100%維持		100 100 100%維持	
水使用量を 削減する。	m³	10	10.0 5.0 0.5%減	20.0 19.0 -1.0%	9.9 5.0 1%減		9.9 4.9 1.5%減	
地域環境保全 ボランティア活動 への参加		4	4 3 100%以上	5 4 125.0%	4 3 100%以上		4 3 100%以上	
環境に配慮した 工事の推進	全件	—	35 20 100.0%	35 20 100.0%	全件 全件 100.0%		全件 全件 100.0%	

※CO2排出総量・現場:103,510kg-CO2

- ※1. 電力のCO2発生量については、四国電力の排出係数(0.532kg-CO2/kWh)を使用した。
 2. 目標の下段は、年間目標を1/2とした上期の目安。ただし、地域環境保全ボランティア活動への参加は実態を踏まえたもの。
 3. 化学物質については、使用の実態がないため、目標を設定していない。
 4. 基準値は、2019～2023年度実績を踏まえ、特に高い・低い値を除いた平均としている。
 5. 環境に配慮した工事は、以下のものをいう。
 ①低排出ガス車両の使用 ②バイオグリスの使用
 ③再生資材や再生砕石の使用 ④低騒音型建設重機の使用
 なお、目標達成率は、次により算定:削減目標の場合 (1-(実績値-目標値)/目標値)×100% 増加目標の場合 (1+(実績値-目標値)/目標値)×100%

2024年度 環境経営目標の達成状況と評価

事務所

評価

環境経営方針	2024年度目標値		目標達成状況		上半期・7～12月 累計/達成状況	年間 累計/達成状況	上半期	年間
CO2排出量の削減	電力使用によるCO2排出量削減	1,297 (kg-CO2)	目標管理指標	(月別)	203	203	取り組みの成果が現れてきている。引き続きエアコンの温度設定を調整したり、不要時の消灯などこまめな節電を意識する。	管理業務(測量や図面など)の一部を外注とした結果、目標達成。今後も、現場と管理業務を効率よく行えるよう取り組む。
		(累計)		1219	2438			
		2438.0 kWh	実績	(月別)	205	182		
		(累計)		1231	2181			
		電力	評価	月別				
				累計	99.0%	110.5%		
	実績・年間 (kg-CO2)上期	1,160 655						
	ガソリン使用によるCO2排出量削減	1,416 (kg-CO2)	目標管理指標	(月別)	51	51	受注工事の関係で移動距離が増えたためやむを得ないが、エコドライブを意識して取り組む。	走行距離の増加によりガソリン使用量が増えたが、今後もエコドライブの徹底により一層意識して取り組むとともに、移動の必要な業務はできる限りまとめて実施するように努める。
		(累計)		305	610			
		610.3 ℓ	実績	(月別)	53	52		
		(累計)		318	624			
		ガソリン	評価	月別				
累計				95.6%	97.8%			
実績・年間 (kg-CO2)上期	1,448 739							
灯油	623 (kg-CO2)	目標管理指標	(月別)			—	—	
			(累計)					
		実績	(月別)	12	21			
			(累計)	72	250			
	CO2総量	3,230 (kg-CO2)	評価	月別				
				累計				
一般廃棄物の削減	一般廃棄物	79.6 kg	目標	(月別)	6.6	6.6	分別・リサイクルなど環境に配慮して取り組んでいる。	趣旨をよく理解して取り組んでいる。今後も分別・リサイクルなど環境に配慮して取り組む。
				(累計)	39.8	79.6		
		実績	(月別)	4.8	5.0			
			(累計)	29.0	59.5			
		評価	月別					
			累計	127.1%	125.3%			
水資源の節水	上水等	39.8 m3	目標	(月別)	3.3	3.3	漏水箇所の探査及び修理の委託中。当初の探査は行っているが、配管系統が複雑なため、より精度の高い探査(個別調査)により、漏水箇所を特定することが必要であり、早期実施を依頼。	漏水が継続中であり、目標達成できていない。委託業務(個別調査)の促進に努める。
				(累計)	19.9	39.8		
		実績	(月別)	4.6	4.6			
			(累計)	27.5	55.2			
		評価	月別					
			累計	61.8%	61.3%			
事務用品のグリーン購入	グリーン購入の推進	4 品目	目標	(月別)	—	—	再生紙使用のトイレットペーパー・コピー用紙を購入。	再生紙使用の事務用品(封筒・ファイル)を購入により目標を達成。
				(累計)	2	4		
		実績	(月別)	—	—			
			(累計)	2	4			
	エコ製品	評価	月別					
			累計	100.0%	100.0%			
年間総括 ガソリン使用量、水使用量について年間目標が未達成となった。ガソリンについては、受注工事の増加による事務関連の処理のため走行距離が増えたことによりやむを得ないが、エコドライブの徹底を意識しながら取り組むとともに、移動の必要な業務はできる限りまとめて実施するよう努める。水使用については早急に委託作業の促進に努める。従業員の環境に対する意識は根付いてきており、それぞれができることを継続して行う。								

2024年度 環境経営目標の達成状況と評価
現場

環境経営方針	2024年度目標値		目標達成状況		上半期・7～12月 累計/達成状況	年間 累計/達成状況	上半期	年間	
CO2排出量の削減	電力使用によるCO2排出量削減	19.8 (kg-CO2)	目標管理 指標	(月別) (累計)	3 19	3 37	倉庫の本格使用により、電力使用量の増加が見込まれるため意識して節電に努める。	資材置き場・現場に、倉庫が本格使用となってきたため、目標未達成。倉庫分の使用状況の実績を踏まえ、今後、目標の見直しを検討する。	
		37.2 kWh	実績	(月別) (累計)	6 33	10 114			
		電力 実績・年間 kg-CO2) 上期	評価	月別					
				累計	22.7%	-106.3%			
	ガソリン使用によるCO2排出量削減	4,950 (kg-CO2)	目標管理 指標	(月別) (累計)	178 1067	178 2134	従業員の安全運行(アイドリングストップや空ぶかし、急発進・急停車など)にも拘わらず、目標を若干超過。今後、一層の安全な運行を心がける。	近場の現場が多かったものの、掛け持ちによる移動距離が増え目標未達成。今後も安全かつエコな走行を意識して取り組む。	
		2133.6 (ℓ)	実績	(月別) (累計)	185 1111	198 2381			
		ガソリン 実績・年間 kg-CO2) 上期	評価	月別					
				累計	95.8%	88.4%			
	軽油使用によるCO2排出量削減	35,818 (kg-CO2)	目標管理 指標	(月別) (累計)	1157 6941	1157 13883	現場での24時間ポンプ稼働のため、最新機種ではあるが、発電機での使用量が急激に増えた結果、目標を超過。自動車・重機の省エネ運転等の徹底など、全体の使用量の削減にしっかり取り組む。	工事の規模が大きくなったため重機及び発電機の使用量が急激に増加。その結果目標達成に至らず。工程によりやむを得ないものの、今後も省エネ型の最新機種の利用と共にエコドライブの取り組みを徹底して全体の使用量削減に努める。	
		13882.9 (ℓ)	実績	(月別) (累計)	2197 13183	3163 37955			
		軽油 実績・年間 kg-CO2) 上期	評価	月別					
				累計	10.1%	-73.4%			
廃棄物の再生率の向上	産業廃棄物の再生資源化率の向上・維持	100 (%)	目標	(月別)	100.0	100.0	適正に取り組めている。	適正に取り組めている。	
		産業廃棄物	実績	(月別) (累計)	— 100.0	— 100.0			
				評価	月別 累計	 ○			 ○
					水資源の節水	水使用量の削減			10.0 m3
上水等	実績	(月別) (累計)	3.2 19.0	1.7 20.0					
		評価	月別 累計	 -181.9%			 -1.0%		
			地域環境保全への貢献	地域環境保全ボランティア活動への参加			4 回	目標	(月別) (累計)
清掃活動	実績	(月別) (累計)			— 4	— 5			
		評価			月別 累計	 133.3%	 125.0%		
					環境に配慮した施工の推進	環境に配慮した工事の推進	全 件	目標	(月別) (累計)
元請・下請工事	実績	(月別) (累計)	— 20	— 35					
		評価	月別 累計	 100.0%			 100.0%		
			年間総括						軽油使用量については年間目標が大幅に未達成となった。当初より工事の規模が大きくなったため、重機及び発電機の使用量が急激に増加したことが原因(発注者に電力の引き込みを提案したが発電機使用となった)であり、やむを得ないものの、最新機種の使用や他の取り組みと併せて全体の使用量削減に努める。また、今後は、受注工事の実態を踏まえた目標設定を検討するとともに、細かい部分の見直しを怠らず、積極的に取り組む。

2024年度
事務所

環境経営活動計画とその実施状況・評価

活動計画: ◎良くできた、○概ねできた、△あまりできなかった、×全くできなかった

取組計画	日程	責任者 (担当者)	通年	次年度の 取組内容	取組結果と その評価
			実施状況		
電力使用による二酸化炭素を削減する。					
・空調の適温化(冷房28℃、暖房20℃)	冷房6～9月、 暖房12～3月	原 嘉彦	○	取組強化	エアコンの設定温度・ 使用時間を 含め、夜間残業の あり方を見直す
・OA機器の省電力設定	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
・照明の不要時消灯	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
・節電シールの貼付	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
燃料使用による二酸化炭素を削減する。					
・アイドリングストップ	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	今後も安全運転・ エコドライブを心 がける
・自動車の日常点検実施	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
・エコドライブ10のすずめを行う	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
一般廃棄物を削減する。					
・使い捨て製品の購入、使用抑制	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	今後も積極的に できることに取り 組む
・再使用またはリサイクルしやすい製品購入	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
産業廃棄物を削減する。					
・廃棄物の分別・適正処理	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	今後も積極的に できることに取り 組む
水使用量を削減する。					
・水道配管からの漏水を定期的に点検	1回/月	原 嘉彦	◎	取組継続	漏水部分の修理のため、委託業務(より精度の高い探査)の促進に努める 節水の徹底を図る
・水使用時の節水を励行	通年	原 嘉彦	○	見直し	
・節水シールの貼付	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
グリーン購入を推進する。					
・環境ラベル認定等製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	今後も積極的に 取り組む
・再生材料から作られた製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	

現場

活動計画: ◎良くできた、○概ねできた、△あまりできなかった、×全くできなかった

取組計画	日程	責任者 (担当者)	通年	次年度の 取組内容	取組結果と その評価
			実施状況		
電力使用による二酸化炭素を削減する。					
・照明の不要時消灯	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	作業員の理解・協力により、節電の徹底がなされている。
・節電シールの貼付	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
燃料使用による二酸化炭素を削減する。					
・アイドリングストップ	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	お互いに声をかけ合うなど作業員が積極的に取り組んでいる。
・自動車・重機の日常点検実施	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
・燃費の良い自動車・重機の採用	通年	原 嘉彦	◎		
・エコドライブ10のすずめを行う	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
産業廃棄物を削減する。					
・材料発注時、適正数量発注	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	適正に取り組めている。
・廃棄物の分別・適正処理	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
水使用量を削減する。					
・水道配管からの漏水を定期的に点検	1回/月	原 嘉彦	◎	取組継続	作業員の理解・協力により、節水の徹底がなされている。
・水使用時の節水を励行	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
・節水シールの貼付	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
グリーン購入を推進する。					
・環境ラベル認定等製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	適正に取り組めている。
・再生材料から作られた製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
地域貢献					
・地域環境保全ボランティア活動	4回/年	原 嘉彦	◎	取組継続	協会の活動に参加。
自社の本来業務に関する目標					
・環境に配慮した工事の推進	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	工事内容や工種にもよるが適正に取り組んでいる。
低排出ガス車両の使用	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
バイオクリスの使用	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	
再生資材や再生砕石の使用	通年	原 嘉彦	○	取組継続	
低騒音型建設重機の使用	通年	原 嘉彦	◎	取組継続	

(2025年度)

環境経営活動計画

事務所

活動計画: ◎良くできた、○概ねできた、△あまりできなかった、×全くできなかった

取組計画	日程	責任者 (担当者)	通年 実施状況	次年度の 取組内容	取組結果と その評価
電力使用による二酸化炭素を削減する。					
・空調の適温化(冷房28℃、暖房20℃)	冷房6～9月、 暖房12～3月	原 嘉彦			
・OA機器の省電力設定	通年	原 嘉彦			
・照明の不要時消灯	通年	原 嘉彦			
・節電シールの貼付	通年	原 嘉彦			
燃料使用による二酸化炭素を削減する。					
・アイドリングストップ	通年	原 嘉彦			
・自動車の日常点検実施	通年	原 嘉彦			
・エコドライブ10のすすめを行う	通年	原 嘉彦			
・移動の必要な業務は一括して行う	通年	原 嘉彦			
一般廃棄物を削減する。					
・使い捨て製品の購入、使用抑制	通年	原 嘉彦			
・再使用またはリサイクルしやすい製品購入	通年	原 嘉彦			
産業廃棄物を削減する。					
・廃棄物の分別・適正処理	通年	原 嘉彦			
水使用量を削減する。					
・水道配管からの漏水を定期的に点検	1回/月	原 嘉彦			
・水使用時の節水を励行	通年	原 嘉彦			
・節水シールの貼付	通年	原 嘉彦			
グリーン購入を推進する。					
・環境ラベル認定等製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦			
・再生材料から作られた製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦			

現場

活動計画: ◎良くできた、○概ねできた、△あまりできなかった、×全くできなかった

取組計画	日程	責任者 (担当者)	通年 実施状況	次年度の 取組内容	取組結果と その評価
電力使用による二酸化炭素を削減する。					
・照明の不要時消灯	通年	原 嘉彦			
・節電シールの貼付	通年	原 嘉彦			
燃料使用による二酸化炭素を削減する。					
・アイドリングストップ	通年	原 嘉彦			
・自動車・重機の日常点検実施	通年	原 嘉彦			
・燃費の良い自動車・重機の採用	通年	原 嘉彦			
・エコドライブ10のすすめを行う	通年	原 嘉彦			
産業廃棄物を削減する。					
・材料発注時、適正数量発注	通年	原 嘉彦			
・廃棄物の分別・適正処理	通年	原 嘉彦			
水使用量を削減する。					
・水道配管からの漏水を定期的に点検	1回/月	原 嘉彦			
・水使用時の節水を励行	通年	原 嘉彦			
・節水シールの貼付	通年	原 嘉彦			
グリーン購入を推進する。					
・環境ラベル認定等製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦			
・再生材料から作られた製品を優先的に購入	通年	原 嘉彦			
地域貢献					
・地域環境保全ボランティア活動	4回/年	原 嘉彦			
自社の本来業務に関する目標					
・環境に配慮した工事の推進	通年	原 嘉彦			
低排出ガス車両の使用	通年	原 嘉彦			
ハイオクガスの使用	通年	原 嘉彦			
再生資材や再生砕石の使用	通年	原 嘉彦			
低騒音型重機の使用	通年	原 嘉彦			

環境関連法規制等の遵守状況等

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される施設等及び内容	遵守チェック結果
廃棄物処理法	産業廃棄物 委託基準、マニフェスト交付等、 保管基準など	適合
建設リサイクル法	建設廃棄物 計画等説明書・完了報告書（発注者 に対する）、実施状況記録など	適合
阿南市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物 分別して排出	適合
騒音規制法	空気圧縮機、削岩機等を使用する作業 事前に届出、規制基準など	適合
徳島県生活環境保全条例	空気圧縮機、削岩機等を使用する作業 事前に届出、規制基準など	適合
浄化槽法	浄化槽 保守点検、清掃、法定検査など	適合
フロン排出規制法	空調機器 管理者の判断基準（定期点検、 点検・整備の記録）	適合

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はなし。
また、過去3年間にわたって、関係当局による違反等の指摘や訴訟もなかった。

代表者による全体の評価・見直し・指示

実施者：代表者 原 嘉彦
実施日： 2024年7月20日

今年度も、現場の業務に追われて、見直しや改善がしっかりできていなかったと思われる。
受注工事の規模拡大や倉庫の本格使用など、従来と状況が変わってきており、こうしたことを踏まえた目標の見直しを検討することが必要と考えているが、一方で、従業員とも声を掛け合い、エコドライブの徹底や節電・節水など身近なことから積極的に取り組むことも重要であり、今後、全社一丸となって、この両面からEA21活動の推進を図りたい。

- ・環境経営方針： 変更の必要なし
- ・環境経営目標・環境経営活動計画： 変更の必要あり
現場について、今後、倉庫の本格使用に伴う電力・水使用量の実績を踏まえた目標の見直しを検討すること。
事務所について、ガソリン・水使用量の実績を踏まえ、今後、目標の見直しの必要性を検討すること。
- ・実施体制： 変更の必要なし